

4~2

四 (陸軍ヨリ受)

司 部 隊 參 謀 長

通電先 次長、威、五航軍、森、信、義、離、定、富、治、各特情、

第二、第五、第七、第八、第九飛行師團、獨立第十飛行團、

第一野戰補充飛行隊、盤谷特情支部、第十方面艦隊、第十通

信隊、第五十五航空師團、岡、昭南特情

司參電第五一〇號

一、英機動部隊 (司令官「パーナードラウリンス」空母指揮官「フィリ

ツプブイアン」) ハ米第五艦隊 (司令官「レイモンドスプルアン」)

ト協同琉球列島攻撃中英艦隊 (戰艦「キングジョージ」五正空母「

イラスープ」其ノ他) ハ先島諸島攻撃中 (敵側放送)

ニ(1)二月中旬以降「パース」放送ニ頓ニ艦所群出現ノ暗號受信

ヲシテ北西濠方面所在艦艇ノ行動不明ノ儘經過セリ「セイロ

(川崎)

「ロイテル」英海相議會ニテ受ク
本攻撃ノ企圖アリシヲ示唆スルモノト判断ス。

方面二月二十二日、二十六日機動部隊出港ノ疑ヒアリシハ英
度艦隊太平洋回航ニ關聯アリシモノト思考セラレ

(2) 從ツテ三月十二日、十九日、二十二日、二十六日夫々「セイ」
ヲ出撃セルハ印度洋防衛巡邏隊ノ行動ナレト略々確實ナルハ

(通信調査)

三、英東印度洋艦隊主力特ニ空母ノ大部ヲ太平洋作戦ニ回航セルモノト
判断セラル (綜合判断)

理由

(1) 英東印度艦隊所屬空母「イラストリアス」ノ太平洋戰參加、
(2) 最近二箇月間ニ敵ハ印度洋方面ニ大ナル作戦ヲ行ハズ

(3) 「サーゴンフイリツフアイアン」少將「バレンバン」攻撃時 (一
月二十四日、五日) 英東印度艦隊空軍指揮官トシテ參加ス

(4) 英米兩艦隊ノ日攻撃ニ於テ爾優劣ニシテ論争シアリシハ (三月十
五日「ロイテル」發英海相議會ニテ質問ヲ受ク) 本攻撃ノ企圖アリ

四二

受信開始 〇〇:〇〇

譯了 〇一四五 電 〇一六八一 作 概 〇



聯合艦隊口

〇一〇五五

佐世保通信隊

球參電第九一八號其ノ一
總大ノ御協力並ニ大戦果ニ對シ當方面敵上陸ノ機切迫シアル折カラ
軍團志滿々滅敵ノ意氣ニ燃エツツアリ。

通信課註 本電其ノ二既配布

通八二六

協作 (五二〇〇) 佐通 武藤 (横田)

4~2 0042



● 聯合艦隊 口

● 佐世保通信隊

一一一〇一五

通電先 各防衛總司令部 司令部

参考 聯合艦隊 第一航空艦隊 第六航空艦隊

球參電第〇九一八號 其ノ二

今後共宜シク御願申上テ

牛島軍司令官。

〔電信課註 本電其ノ一未着〕

通八三一 協作 (五二〇〇K) 佐通

小森 (松山)

四二 受信一四四〇五 譯了一六三〇 電〇一三九七 作概〇
作戰緊急



一 航空艦隊

共 符

一一二三四〇

通電先 臺灣軍第八飛行師團 第六航空軍 第一、五航空艦隊
サンセウ電第四九八號

敵機來襲狀況ヲ統計的ニ見ルニ夜間ハ概ネ夜戦一乃至二機ヲ以テ船團
上空ヲ掩護シアリ艦上機ノ現出ハ一六二〇頃ニシテ一九〇〇頃歸還
スルヲ常トス。

通一二一九 協作(一一三四七五KO) 五FGB放 岩作(佐藤)

二 受領 〇〇八〇〇 了 〇九五〇 五〇〇 大五九 作 〇

作戰特別隊

聯合機隊



五航艦隊

三〇一 二六五 〇〇

通電先 參謀本部 臺灣軍 聯合機隊 第五航艦隊 第六航空軍

第八飛行師團 第一航空隊

キウ多電第〇八九四號其ノ三四六

努力セザルハ以テ我ノ乘ズベキ天與ノ好機ナリ本作戰ニ於テ敵ヲ海上及陸上ニ於テ徹底的ニ殲滅セシメ又ハ敵ヲ「東西諸島」攻略ヲ斷念セシムル今期ハ先ズ空母及戰艦ヲ殲滅スルニテアリ就テハ航空

通八三二 協作 (五二〇〇K) 佐通 田中、谷島 (三五) (一)
通一六九七六

攻撃目標選定に付特ニ御配慮ヲ得度

（其ノ五未着以下其ノ六）

但シ右ニ機一機ヲ指導統制スル軍團ヲ衝キ大規模ノ戦法ヲ遂行シテ之ヲ守備現況ニ即シ實行スルコトアリ

（電信課註 本電其ノ二既配布其ノ一、及五以下未着）

作戰特別緊急

共

共

符

三〇一―九二五

球參電第八九四號其ノ一

敵未ダ其ノ後沖繩本島ノ上陸キテ隨時到着地上火器ヲ以テ砲撃ヲ敢化シ慶良間ニ向ヒタル航空部隊ハ無事上陸戦果ヲ收メツ中ニ上陸シ

ル

（電信課註 本電三、四、六既配布）

（東 通註 本電誤字多ク完全翻譯困難）

通二二八〇 協作一九八三〇（C）佐通二放 岩 佐（吉） 田

急緊特別作戰

特 失

（2）

3~30.31 0047



聯合艦隊

佐

通

MOIIOIO

三三〇 開始 〇九三〇 〇〇一四〇四 作

球電第八八五號其ノ二

昨今ノ敵直掩空母ノ主隊ハ時空母ニシテ時戒機艦ヲ少ク又我ヲ無攻ニ對シ敵艦船ハ猛烈ナルシグザク運動ヲ行ヒ對空火器ハ猛烈シテ時攻機ノ損害殆ド無キニ鑑ミ神風第二陣方策多考遂ニ第一案ト同一空飛行機隊ニケ機隊編成ヲ以テ機動的ニ敵ヲ制壓シツツ行ヒ晝間機隊第二案夜間機隊ヲ以テ敵艦船隊上陸ヲ

一電信機隊 本電其ノ三以下未着

通一六六三〇 協作ハ五二〇〇〇 佐通 深本ハ五 島

3-30-31

四 二 受信 一八〇五 開了一九〇〇 電〇一四〇〇 作概 〇

佐 通

傍

聯合艦隊 航空艦隊

三〇一—五四五 其ノ五

球參 八六 一號 其ノ五
更取 敵ヲ 攻メ 撃テ 戰術 的ニ 勘案 吟味 左ツ 如ク 攻メ 一層ノ 戰果 ヲ 擧ゲ
得ベシ。

〔電信 本電 其ノ一、二、三、四及六以下未着〕

一十九 協作 (五二〇〇) 佐通 本田 (久保田)

0048

4-2

三三〇 受信〇九四三 譯了—五五〇 電〇一四〇五 作概〇
譯始—三四〇

傍

● 聯合艦隊
● 五航空艦隊

二九一—五〇〇

球參電第八二〇號其ノ二

左ノ點ヲ考慮煩度

(一) 薄暮以後一部ヲ以テ積極制壓的ニ攻撃シテ敵ノ舟艇ヲ乘疎止

及ビ本朝攻撃ノ戦果擴張。

(電信課註 本龍其ノ一及ビ其ノ三以下未着)

通一六一八九 協作B (B) 佐通 才木 (細川)

4-4

0900



四

受信一八〇〇〇

了 一八三〇

電〇〇三一七六五

作

概

聯合艦隊

三一三〇五八

通電先 參謀本部 第一航空艦隊、第五航空艦隊
キウサンセウ電第五〇八號 其ノ二三

〇一二五對空射撃 〇五五五一〇六一〇火柱二(轟音)

三「湊川南方 海面 〇一三〇一〇一四〇」

三「ケラマ」南方海面 〇一三〇一〇一五〇對空射撃 〇六〇〇一〇六

一〇對空射撃

「電信課駐 本電其ノ一未着」

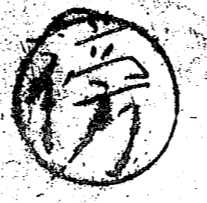
通二五六九
二六一四

協作

浅林 (川口)

4-2.3 1900

球多セウ電第五〇二號其ノ一
 一日夜及二日拂曉「沖繩」本島方面戰況
 一日夜軍ハ敵上陸方面ノ部隊ニ對シ果敢ニ斬込ヲ實施
 二三日朝來敵ハ引續「北谷」以北ニ上陸ヲ續行中。
 一電信課註 本電以下未着



● 聯合艦隊
 ● 五航空艦隊

二一五一五

通一六二一

協作 (B) (佐通)

清水 (小澤)

三 開始 〇三三〇 了 〇五〇 電 〇一六五六 作概 〇

Handwritten notes and stamps on the right page, including a circular stamp at the top left and various illegible characters and numbers.

4~2

0052

三三三
一一一
四三七
八九八

協作

(九一三四七)

五〇〇 (カニケ)

放 本田・岩佐(五井)

(1)

通電先 參謀次長(參考防衛總司令部)ヤス誠第六飛行團第九軍
 第一五航空艦隊
 四月一日(沖繩本島)〇六二〇ヨリ延約五〇〇機ノ主力ヲ以テ北中
 飛行場及周邊障地へ「シユリ・オナハラ・コロク・チクトカワ」北中

局長	一	航空
課長	二	艦隊
A	三	勇
B	四	勇
E	五	勇
J	六	勇
G	七	勇
F	八	勇

共符

四 二 受信 二〇四〇五六 譯了 二〇五〇
 電電 〇〇〇 一三三 四四四 八七六 作 〇

敵機動部隊ノ位置 19 「首里」側右九〇度一〇〇軒一八〇度一〇〇
 軒左三〇度一〇〇軒附近 20 (電波警戒機) 敵ノ上陸直
 接支援トシテハ來機數少ク來襲機ノ殆下全部ハ上陸掩護機ナリ。
 (東通社 本電種イテ 字多クタノ翻譯困難)

(2)

4~2

緊急



共

符



三一八一八〇〇

半ウ參情電第 四〇八號 其ノ一
 三十日夜半ヨリ三十一日〇五三〇迄ニ各方面斷續的ニ敵艦船群ノ對空射
 撃音ヲ聞ク本朝火柱ヲ認メタルモモヤ深ク詳細不明。
 (電信課註 本電其ノ二以下未着)

通一一〇七 協作 (七八七三) (一KFG) 放 相澤 (松山)

4~1 0055

作戰特別緊急

沖繩
作

(陸軍部) 電

電〇一五二二五

航作本〇

次、聯合艦隊。防艦。東京海

靖電第五三六九號

本日一五三五 那覇一五〇一五〇隻、大船四北西進中、軍司偵

報一

三軍、三十一日後半夜重機一機ヲ以テ 明後明以降第三攻
撃集團ヲシテ敵ヲ求メテ攻撃セシメ引續キ全力ヲ以テ此ノ敵ヲ
攻撃ス。

通〇四

吉井

4~1

作戰緊急



第一機動基地航空部隊作命着信機所

鹿屋航空基地

機密第三一二二一七番電 三分ノ六三三

一 K F G B 天偵察速報 (三月三十一日二〇〇〇)

一、彩雲三機ヲ以テ佐多岬基點一五五度ヨリ一八五度迄進出距離三〇〇

哩索敵一二二〇迄ニ發進一七三〇迄ニ歸投一七〇度索敵線一二三〇

發 調ノ爲引返ス一八五度索敵線一三〇四喜界島東方ニテ戰團機

ノ追躡ヲ受ケタルモ離脱歸途種子島南方ニテコンソリ飛行艇一機意

掩護機二機ヲ認メタル外敵ヲ見ズ二〇〇哩迄晴三〇〇哩鼻視界一

機一五、三〇、五三 呂一B (三九三七五KG) 一 K F G B 放 高原 德永 (吉田)

四 設信 〇〇一〇五〇 歸了 〇二三八 電自 〇〇〇一〇〇二〇 航作 本〇